



第一中だより

文京区立第一中学校
校長 山内 卓司

【教育目標】○進んで学習し、よく考える人 ○責任を重んじ、思いやりのある人 ○心身ともに健康でねばり強い人

心が動く経験を大切に

校長 山内 卓司

私には映画鑑賞という趣味があります。きっかけは、コロナ禍でステイホーム期間中、インターネットでお薦めの映画を調べながら、多くの作品を観たことでした。心が洗われるような感動、ハラハラドキドキの緊張感、そして予想もつかない大どんでん返しなど、数え切れないほど素晴らしい作品と出会いました。

その後も映画館に足を運んだり、テレビ放送を録画して観たりと、いろいろな作品に触れてきましたが、先日、これまでで一番涙した映画に出会いました。

作品名は『栄光のバックホーム』です。普段から学校をサポートしてくださっている地域学校協働本部の方から、「最初から最後まで泣ける映画なので、ぜひ観た方がいいよ」と勧められました。インターネットの口コミでも、「人生で一番泣いた」という声が多く、それならばと映画館に足を運んだところ、勧めてくださった方の言葉や口コミの声の通り、恥ずかしながら後半はずっと泣きっぱなしでした。私にとっても「人生で一番泣いた映画」になりました。

内容に触れすぎない範囲でお伝えすると、『本当に野球を愛したプロ野球選手が、若くしてがんで亡くなる』という物語です。これだけを聞くとストーリーを想像できそうですが、登場人物が紡ぐ1つ1つの言葉、俳優の方々の表情や演技に胸を打たれ、自然と涙が溢れてきます。そして「命の尊さ」と「今を生きる意味」を強く問いかけられ、「困難に直面したとき、自分を信じて最後までやり抜く勇気」を与えてくれました。こうした深い感動を覚えるたびに、作品の持つ力の大きさを改めて感じます。

私たちは、ときどき一つの作品から大きな気づきを得ることがあります。心を揺さぶる映画に出会うことで、自分の生き方をふと見つめ直したり、もう一度前を向いて頑張ろうという気持ちが湧いてきたりします。良い作品との出会いは、ときに人生に大きな力を与えてくれるものだ改めて感じました。

そして、そのような作品に出会うためには、日頃からさまざまなものに興味をもって触れてみる姿勢が大切です。映画だけでなく、本や音楽、芸術、スポーツなど、少しでも「気になる」と感じたものに、自分から手を伸ばしてみてください。新しい世界を知ろうとする小さな一歩が、思いがけない感動や、大きな気づきにつながります。

多くの本物に触れ、多くの経験をして、そこで得た「心の揺れ」や「感じたこと」が、みなさんの心を豊かにし、これからの人生を支える大切な財産になるのです。

挨拶スローガン

生活委員会が中心となって各クラスでスローガンの案を考え、全校生徒による投票で、挨拶のスローガンは『笑顔であいさつ 先手必笑』に決まりました。このスローガンのもと、今年はさらに笑顔で元気な挨拶が飛び交う学校への成長を目指していきます。



玄関に掲示されたスローガン

税についての作文

東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞 3年
一般社団法人小石川青色申告会 会長賞 3年

校内書き初め展 金賞

3年 4名
2年 3名
1年 3名

【2月行事予定】

2月	2日(月)	全校朝礼 1校時カット
	3日(火)	B時程 委員会
	4日(水)	特体連バスケットボール大会(5組) 中央委員会
	9日(月)	4・6校時をチェンジ(全学年) 5・6校時カット(5組)
	11日(水)	建国記念日
	12日(木)	避難訓練
	13日(金)	新入生入学説明会
	16日(月)	学年朝礼 せるすたクラブ(始)
	20日(金)	せるすたクラブ(終)
	21日(土)	都立一般入試
	23日(月)	天皇誕生日
	24日(火)	学年末考査(国語・社会・美術)
	25日(水)	学年末考査(数学・保体・音楽)
	26日(木)	学年末考査(理科・英語・技家)
	27日(金)	茶道教室(2年)